

こんにちは 健保組合です!

事業所訪問 「総武通運(株)」 の巻

この企画も平成四年四月号で満一年を迎えました。

当初の目的は、健康保険組合と事業主、被保険者、特に健康管理委員、事務担当者とのコミュニケーションの場を広げ、保健施設事業の一助にしようというものでした。取材する側の不慣れ等によって、はたして十分効果が上げられているかどうか、真剣に考えているところですが、訪問先の事業主をはじめとして役員、事務担当者の皆様方の、心温まるご協力によりまして、何とか継続できていることに対し厚く御礼申し上げます。

前身)の貨物運送機関として設立され、明治四十四年に湾岸問屋との共同による、陸送運輸專業の三野田運送店が設立されました。その後、何度か変遷を繰り返して、大正十三年に野田醤油が船業部門すべてを買収し、直接支配下に置き今日の基盤をつくりました。この時点が会社設立のこと。以後、昭和十三年、運輸省令により一線一社に統合を命ぜられ、現東武鉄道沿線の六社統合により総武通運株式会社と改称し、現在に至っているそうです。江戸川を利用した内湾航路による輸送から、鉄道貨物輸送、そして現在の陸送へと、時代の流れや歴史の変遷が感じられ、むかし教科書で学んだことのように、懐

ます。

さて、今回の訪問先は野田市にある総武通運(株)。湾岸線から首都高速を経由し一六号を抜けて、野田市まで約一時間という最短コースを車で急ぎました。三月九日ともなると木々の新芽も大きく膨らみ、緑も少しずつ色づき始めて、自然も人間も、すぐそこにきつつかある本格的な春の足音を実感していることでしょう。

野田市のイメージはというと「キッコーマン」醤油が連想されます。日本の食文化と醤油は非常に密着していて、どんな食事の場においても醤油は欠かせないものになっており、その代名詞的な言葉が「キッコーマン」だからなのでしょう。

車が市内に入ると、やはり、「醤油の街」という言葉がピツタリの街並みで、街道沿いにはいろいろなプラント工場が立ち並んでいました。驚いたことに、かつて訪れたときに感じた醤油の香りは辺りになく、企業設備の充実を感じさせられました。工場の立ち並ぶなか、東武野田線の野田市駅近くに今日の目的地がありました。

「こんにちは健保組合です!」と、早春の日差しがふんだんに降り注ぐ

かしいものがありました。

話題は福利厚生へと移り、私たちが最も注目すべき健康管理について、引き続き金剛寺課長から説明を受けましたが、驚くべきことに健康診断の受診率はほぼ一〇〇%。さらには検診後のフォローにも重点を置いておられました。森田部長が「金剛寺課長が口やかましいほど呼び掛けている」とおっしゃるほど、徹底されていた。健康保険組合が担うべきことと先入観をもっていた私たちですが、企業がここまで傾注されているのはとても力強いことです。

また、社では職場衛生委員会を編成され、健康増進に寄与されているとのことでした。斉藤常務より「健康管理については自信をもっている」とのお言葉がありました。私たちがはうなずくばかりでした。

その後も話題が尽きず、社の運営方針等についても皆さんが熱弁をふるわれました。こうした姿勢が健康保険組合の礎となっていることを実感して、取材を終えました。

キッコーマン工場の見学まで配慮していただき、ご多忙のところ快く取材に応じてくださった根岸社長をはじめ、役職員の皆さんに謝意を表

明るい事務所に入りますと、女子職員がにこやかに応対してくださいました。そして、健康保険組合の健康管理委員をお願いしている金剛寺課長が、「ようこそ」と温かく迎えてくださいました。氏は前日、県外で一泊の会議に出席されていたにもかかわらず、この企画のために早朝、社へ出勤されたとのことでした(無理をお願いして申し訳ありませんでした……)。

早速、二階の社長室へ案内されました。社長室では、根岸社長が執務されておりましたが、「やあ!」と声を掛けてくださいました。そして、先般、予算編成の組合会議が開催された「日本エアロビクスセンター」の施設の利用について、「利用方法を教えてほしい」と話され、私たちは社長の意外なご発言に、うれしさを感じた次第です。こうして保健施設事業についての会話になり、その重要性を事務局は認識しました。

また、高齢化社会を迎えての年金制度の充実についても触れられ、厚生年金基金の重要性も話されました。将来を展望した社長のお言葉に、会社の利益だけでなく、従業員の生活の基盤を考えた企業のトップとして

▼右から根岸社長、斉藤常務、森田部長、金剛寺課長



の大きさを感じ、私たちが敬意を表したのはいうまでもありません。

社長と約三〇分程の懇談の後、席を移して斉藤常務、森田部長、金剛寺課長の臨席のもと、総武通運の沿革や社員の福利厚生について説明を受けました(この取材のために、たくさんの資料を用意していただき、ありがとうございました)。

総武通運は明治三十三年、人車鉄道(株)が野田醤油(現キッコーマンの

▼先代キッコーマン社長揮毫の額縁「一隅を照らす」



して総武通運を後にしました。ご協力ありがとうございました。

野田市には、桜の名所の清水公園があります。花びらでいっぱいに着飾るときを、桜たちは心待ちにしているのでしょうか。それとも花見客の雑踏を疎ましく思っているのでしょうか。どちらにしても、すぐそこに春が到来しているのを感じながら、私たちは帰路についたのでした。